

広島・長崎・埼玉

チェルノブイリ原発事故講演会

チェルノブイリ原発事故を体験・取材したジャーナリストの講演会を、開催します。
通訳付き、無料。電話で予約し、ご参加ください。

1月9日 10:30~12:40 広島講演会 チェルノブイリ原発事故—悲劇を体験して

ジャーナリスト・イニシアチブ基金 リュドミラ・メハ会長
会場:広島市西区民文化センター・スタジオ
グリーンコープ生活協同組合ひろしま (082-831-1503) と共催



1月11日 10:30~12:00 長崎講演会 チェルノブイリ原発事故—悲劇を体験して

ジャーナリスト・イニシアチブ基金 リュドミラ・メハ会長
会場:長崎歴史文化博物館・1Fホール
グリーンコープ生活協同組(長崎) (095-746-3881) と共催

チェルノブイリ原発で大事故起きた時、私は原発に近いマカロフ新聞の編集長でした。
町の本通りを、絶え間なく通りすぎる自動車の流れで、
何か恐ろしいことが起きたかもしれないとは思っていましたが、何の情報もありませんでした。
事故から4日後の5月1日は勤労者の国際連帯デー。
小旗や風船を持っている着飾った生徒や、赤ちゃんを抱いている親もデモに参加しました。
避難の実態を取材した記事で、1986年夏に私は、プロのジャーナリストが与える「金のペン」賞を受け取りました。
私の最初の夫、バレーリは3年後、口の粘膜のガンで、妹アラも、やはりガンで39歳の若さで亡くなりました。

1月13日 13:30~15:00 埼玉講演会 チェルノブイリ原発事故で起きたこと

ジャーナリスト同盟セルゲイ・シェフチェンコ書記局長
会場・主催:食品と暮らしの安全基金 (048-851-1212)
(埼京線・与野本町から徒歩で3~4分)



12時から昼食をとりながら懇親会(食事代1000円)

原発事故後、立ち入り禁止区域で、貴重品、文化財、教会の絵、汚染された金属も持ち去られて金属屑の加工工場に売られました。そこを取材したシェフチェンコさんに、事故後の状況を話していただけます。

ソ連の核の撤去でウクライナ方式といわれる実績をもつウクライナで、
最大のジャーナリスト組織ジャーナリスト同盟セルゲイ・トミレンコ代表、
昨年の来日で「日本を愛してしまった」と、日本プロジェクトをウクライナ
中に紹介してくれたオレグ・ヤルムレンコTVディレクターにも、昼食を
とりながら、日本の感想を話してもらいます。



会場が狭いので、早めにご予約ください。

【このチラシについてのお問合せ】

NPO法人食品と暮らしの安全基金
埼玉県さいたま市中央区本町東2-14-18
TEL: 048-851-1212 Mail: mail@tabemono.info